



貼るだけで、鉄壁防水



[新築・改修・緊急時に、ワンタッチの雨じまい]

高耐久性 多目的防水テープ

フラッシュバンド

日本総代理店：山喜産業株式会社

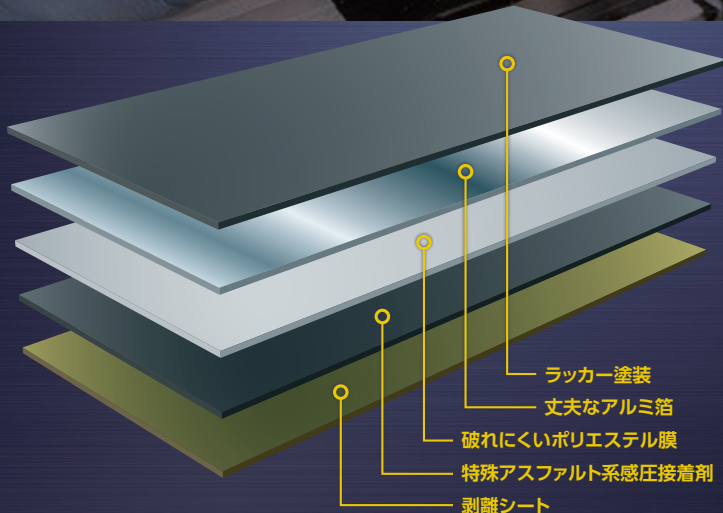
by BOSTIK



耐用年数
10年以上
の実績



工具いらず、プロの仕上がり



テープの上から塗装も可能!

アルミ箔、ポリエステル膜および
特殊アスファルト接着層から成る複合防水テープ

フラッシュバンドは、英国最大の接着剤・防水メーカーであるボスティック社の国際的ベストセラー製品で、ワンタッチの雨じまい、建物の万能防水テープとして、長年にわたり重宝されています。
トタン屋根雨漏りや耐熱耐水として効果を発揮! 金属、ガラス、プラスチック、塗装面など清潔な平滑ち密な面にはそのまま定着します。
コンクリート、モルタル、レンガ、フレキ版などポーラスな面にはフラッシュバンド・プライマーを塗布してから張りつけてください。
木材や合板などにもプライマーをお勧めします。

世界が認めた、 英国品質の超強力防水テープ



特長 ①

優れた耐性!

対候性、耐久性、耐引き裂き性、
耐衝撃性、耐熱性(-10~+100℃)
に優れています

特長 ②

作業が簡単!

剥離シートをはがし
施工面に押さえるだけ。
簡単で特殊技術を必要としません。

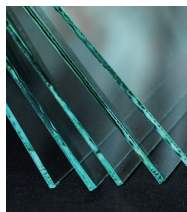
特長 ③

テープの上から 塗装が可能

接着できる素材



金属



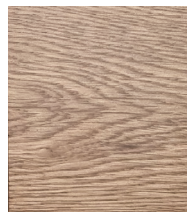
ガラス



コンクリート



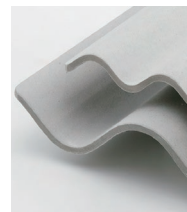
合板



木



プラスチック



スレート

など

折板屋根に



雨どいに



Line-UP 豊富なサイズバリエーション!

種類	表面仕上げ	推定耐用年数	1ロールの長さ (ロール径)	幅	カートン入数
ブライト 	アルミ箔	10年以上	10m (約15cm)	50mm	6ロール
				75mm	4ロール
				100mm	3ロール
				150mm	2ロール
				300mm	1ロール
グレイ 	アルミ箔に ラッカー コーティング	15年以上	10m (約15cm)	50mm	6ロール
				75mm	4ロール
				100mm	3ロール
				150mm	2ロール
				225mm	2ロール
				300mm	1ロール
				450mm	1ロール
			台紙付 200mm	150mm	10枚

PRIMER 2種のプライマーをご用意

種類	概要 / 使用方法	標準塗布面積(1回塗り)	単位
薄塗り型溶剤系アスファルト塗料 フラッシュバンド・プライマーSV	比較的平滑な建築表面にフラッシュバンドを張る場合に使用。コンクリート、モルタル、石材、レンガ、木材、各種金属に施工でき、フラッシュバンドの接着をさらに向上させます。	7~9㎡/L	1L×12缶/カートン 1L缶
厚塗り型アスファルトエマルジョン塗料 フラッシュバンド・プライマー・エマルジョン	粗い、ポーラスな建築表面にフラッシュバンドを張る場合に使用します。平滑でポーラスな表面にも粘着性を高めるために使用できます。	2㎡/L (薄塗り希釈液の場合 6~9㎡/1.5L)	1L×12缶/カートン 1L缶

主な用途

- 各種屋根(塗装金属、カラー鋼板、トタン、コンクリート、波形スレート、プラスチック板など)の雨じまいと防水補修
- パラペットの雨じまいと金属笠木のジョイントシール
- 防水層(アスファルト、シートなど)のジョイントや端部の押さえと補修
- とい(金属、トタン、硬質PVC、アルミ、コンクリート、フレキ板など)のライニングとジョイントシール
- トップライト、温室の防水補修
- 異質材料の取り合い部のシール
- 屋根突出物(柱、パイプ、照明柱、換気塔など)および石油タンクの周囲のシール
- 屋根や壁面のクラック
- 窓やサッシ周りの緊急補修

トップライトに



笠木・パラペットに



スレート屋根に



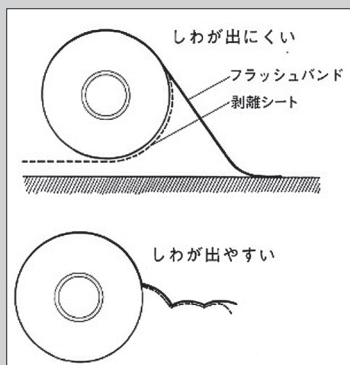
使用方法

下地準備

- ① 下地のほこり、油脂分、ぼろつきなどを清掃除去し乾燥させます。
- ② 3mm以上の空隙や穴は適切なフィラーで埋めておいてください。
- ③ モルタル、コンクリートなどダストの出やすいポーラスな面には、フラッシュバンド・プライマーSV(溶剤系薄塗り)またはフラッシュバンド・プライマー・エマルジョン(水性厚塗り、希釈すれば薄塗り)を塗って乾燥させます。プライマー塗布後、24時間以内にフラッシュバンドを張ってください。

施工

- ④ フラッシュバンドをロールから外し、所要寸法に合わせたはさみまたはカッターで切り取ってください。
- ⑤ 約50mm長の剥離シートをはずし、注意深く所定の位置にフラッシュバンドを張ります。
- ⑥ フラッシュバンド表面のしわをできるだけ少なくしてきれいに張るには、ロールからフラッシュバンドをはずすときに、同時に剥離シートからも離れるように、剥離シートをロール側に押さえます。



- ⑦ フラッシュバンドを施工箇所に手で軽く押さえておきます。過度の圧力は禁物です。
- ⑧ さらにハンドローラーや角を丸くしたブロック状木片などで表面を均しながら気泡が残らぬよう注意して全面を押さえていきます。特にオーバーラップ部や端部を入念に押さえてください。

- ⑨ 張り継ぐ場合のオーバーラップ幅は少なくとも25mmとってください。
- ⑩ フラッシュバンドの上に一般の水性および溶剤系仕上げ塗料を塗ることができます。ただし、端部のアスファルト接着層が溶けて汚れる場合があります。
- ⑪ 小さな動きの目地の場合、フラッシュバンドの幅より50mm狭い剥離シートを目地の上に置いてからフラッシュバンドを張ってください。
- ⑫ 大きな動きの目地には、丸棒状発泡ポリエチレンを目地の上に出るように置いてください。これにより支えられたフラッシュバンドの突出部が動きに追従します。
- ⑬ プラスチック板は温度変化による膨張収縮が非常に大きい材料です。長い箇所にフラッシュバンドを張る場合は、長さ500mmに切り、25mmオーバーラップして張り継いでください。
- ⑭ フラッシュバンドは大抵の建築材料に密着しますが、塩ビ防水シートや一部のゴム系防水シートには不適合場合があります。

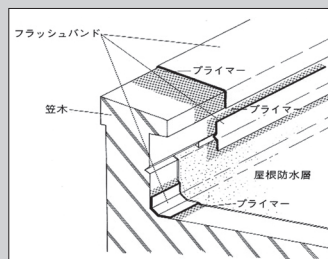
施工温度

- ⑮ 気温や下地表面温度が5~10℃の寒冷時には、フラッシュバンド接着層のタック(粘着性)が低下します。使用直前までフラッシュバンドを温かい場所に保管してください。必要であれば、熱風式ヒーターなどで下地表面とフラッシュバンド接着層側を加熱してよく圧着してください。但し、過度に加熱したり、直火(バーナー)式ヒーターを使うことは禁物です。下地表面温度が5℃未満になるとタックがなくなり付着しません。
- ⑯ また、寒冷時には、プライマー不要の下地であっても、フラッシュバンド・プライマーを塗布すると粘着性が向上します。
- ⑰ 30℃を越えると剥離シートがはがれにくくなる場合があります。夏季工事では使用直前まで涼しい場所に保管してください。

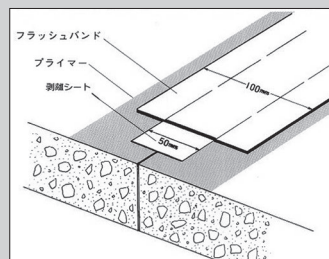
その他注意事項

- ⑱ フラッシュバンド表面に特に耐酸性や耐アルカリ性はありません。そのような物質との接触は避けてください。
- ⑲ フラッシュバンドは歩行に適しません。
- ⑳ フラッシュバンドの保管は、直射日光の当たらない冷暗所を選んでください。

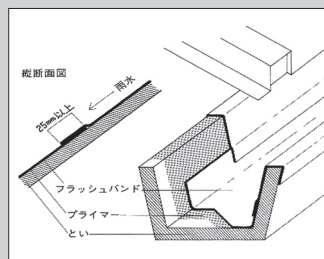
参考図



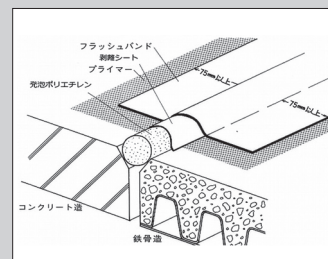
笠木の防水、入りすみの増し張り、防水層端部の押え



動きの少ない目地



といのライニング



伸縮目地